

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	美術	
科目基礎情報							
科目番号	2019-390			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	(教養科 非常勤講師) ,長谷川 将丈						
到達目標							
美に対して感動と喜び、興味をもつことを目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	美に関して正しく感動することができる			美に対して感動することができる		美に対して感動できない	
評価項目2	美に対してしっかりと喜びを持つことができる			美に対して喜びを持つことができる		美に対して喜びを持つことができない	
評価項目3	美に対して非常に興味を持つことができる			美に対して興味を持つことができる		美に対して興味を持つことができない	
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5							
教育方法等							
概要	芸術は人生にうるおいを与え、人格に深みを付加する。美術の授業では実技での基本技術と観察力を養い、また、絵画を化学的に解析したり、描き方から飾り方までの知識を学習する。						
授業の進め方・方法	実技の課題制作70%、知識の小テスト20%、受講態度10%として評価、60点以上を合格とする。						
注意点	・評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 ・中間試験を授業時間内に実施することがあります。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス、グレースケール		絵の種類とデッサンでの鉛筆の使い方について理解することができる。		
		2週	実技		遠近法について理解することができる。 遠近法を使って風景画を描くことができる。		
		3週	実技		遠近法について理解することができる。 遠近法を使って風景画を描くことができる。		
		4週	実技		遠近法について理解することができる。 遠近法を使って風景画を描くことができる。		
		5週	実技		遠近法について理解することができる。 遠近法を使って風景画を描くことができる。		
		6週	実技		人物のプロポーションを理解し、人物画を描くことができる。		
		7週	実技		人物のプロポーションを理解し、人物画を描くことができる。		
	4thQ	8週	実技		色彩について知り、デザイン画を描くことができる。		
		9週	実技		色彩について知り、デザイン画を描くことができる。		
		10週	実技		色彩について知り、デザイン画を描くことができる。		
		11週	実技		色彩について知り、デザイン画を描くことができる。		
		12週	実技		色彩について知り、デザイン画を描くことができる。		
		13週	実技		彫刻制作ができる。		
		14週	実技		彫刻制作ができる。		
		15週	実技、まとめ		彫刻制作ができる。		
	16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題制作	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	70	0	10	0	0	100
基礎的能力	20	40	0	10	0	0	70
専門的能力	0	30	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0